

平成27年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、西川図書館が重点的に取り組んだ事業。

西川図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◆全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためのレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンスサービスの充実を目指し、職員のリファレンススキルアップさせるために、市及び県主催の研修等に16名参加。	・窓口業務の職員を確保するため、館外研修への参加が難しい中、巻図書館では休館日に各職員が受けたレファレンス事例を発表して、勉強し合う会を開いた。今後、他の館でもこのような工夫をしてレファレンス力を高めていきたい。	3 大変評価する。 63%	・市民の評価にもつながるレファレンスサービスの充実は大きな課題だ。 ・研修事項の共有化、しかも休館日利用とはあった。 ・レファレンスの関連投稿等はあるのでしようか。利用者の不満、要求等を大いに参考にすべきと思う。 ・職員のリファレンス力に差があると感じる。どの職員も同じであってほしい。 ・レファレンス力向上の取組を評価する。継続的な実施を希望。
	◆館の重点評価項目 来館者へのレファレンスサービスの周知	・本や情報を探している方に対して、図書館が応えられることを伝えていく。	・職員が窓口で適切に対応できるように努めると共に、気楽に聞いていただける雰囲気づくりにも心がけた。 ・図書館だより等でレファレンスを紹介。	・レファレンス件数は11%増となった。但し、職員が手書きでカウントするため、毎年数値にばらつきがある。正確な数値の把握に努める。	3 大変評価する。 71%	・レファレンスサービスは図書貸出と並ぶくらい大切なサービスだと思う。利用していただいてこそ価値があるので、多くの人に利用していただけるように、今後も努めていきたい。 ・「直」という成果が出ている。 ・西川図書館で春頃、本を探してもらったが、求めている本が(調べたいこと)がなく、職員は「これしかありません。」とのこと。これではレファレンスではないと感じた。利用者が求めている情報を提供できればだめだと思ふ。 ・窓口の雰囲気はよい。
特色ある地域づくりを推進する図書館	◆全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・西川で郷土史を研究する方々から協力していただき講演会を開催し、巻でもボランティアグループと共催で地域の自然をテーマにした講座を行い、会場では資料の展示を行った。	・地域の資料を生かした講座を開催し、参加者から地域の歴史や自然を学んでいただくことができた。 ・体系的な収集を目指すことは難しいが、要望に応えながら地域資料の整備を行った。	3 大変評価する。 63%	・講演会や講座の参加者はどれくらいだったのか。 ・継続、発展を望む。 ・地域資料のコーナーができたり、資料収集を呼びかけたりしたのは良い。図書館も地域貢献が大事。 ・絶えず要求を聞き取り、満たしていくことが地域の図書館かと思う。ぜひ要望に応えてほしい。 ・図書館が場を提供して行う講演会、講座の開催はよい取組だと考える。地元の研究やボランティアグループの活動を支援することも図書館の役割として大切。
	◆館の重点評価項目 地域資料の積極的な収集	・各地域の資料収集の拠点となるよう、資料の刊行等に目を配り、購入と寄贈を依頼する。	・西川で、西川町時代に発行された資料が整備されていないという利用者からの指摘があり、地域の協力を得て収集することができた。 ・中之ロコミュニティ協議会が発行した「昔のごっつお」を多数ご希望いただくことができた。	・地域の方々と積極的に繋がりを持つよう努めて、資料の情報を得ることができた。	3 大変評価する。 86%	・地域の研究会やボランティアグループが刊行した図書の収集や、研究の発表、講演会は、まさに地元の図書館の果たす大切な役割かと思う。今後も積極的な繋がりを維持、発展させてほしい。 ・すばらしい取組、成果である。 ・西川図書館では地域のゆかりの人物等の展示が少ない。 ・西蒲区の図書館は地域の方との結びつきが強いので、今後も郷土資料に力を入れてほしい。
子ども・読書・読書活動型図書館	◆全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。事業の充実を図るため、3歳児健診会場でアンケートを実施するなど、今までのブックスタート事業の検証を行う。	・西蒲区の1歳児338人(対象者の94.2%)にブックスタートを行うことができた。 ・3歳児健診でのアンケート結果では、「ブックスタートが子どもに絵本を読んでもらえるきっかけになった」という回答が57%あった(全市)。	・ボランティアの協力と区健康福祉課等との連携でブックスタート事業を円滑に行うことができた。 ・3歳児健診アンケートの結果、ブックスタートが乳幼児期の読書環境整備に大きな役割を果たしていることがわかった。	3 大変評価する。 88%	・ブックスタート事業の検証と同時にブックスタートに続く、読書、本好きへの誘いが何か欲しい。 ・ブックスタートが絵本を読んであげるきっかけになり、その後も続くような後押しができれば良い。 ・1歳児のブックスタートの参加者が多く、評価する。乳幼児期にも継続的に取り組むことを希望する。
	◆館の重点評価項目 子育て世代に役立つ図書館整備	・子育て応援コーナーを設置し、児童書と子育てに役立つ本を紹介する。 ・「赤ちゃんタイム」を周知し、子ども連れでの来館を遠慮する方々への、図書館利用を促す。	・年度末までに、全館で子育て応援コーナーを設置し、「赤ちゃんタイム」も実施することができた。 ・児童書の貸出冊数が微増した。	・「赤ちゃんタイム」による効果は、まだ明確ではないが今後も継続して子育て支援を通した読書環境整備を充実させていく。	3 大変評価する。 43%	・「赤ちゃんタイム」は前年度の評価を踏まえた取組で、こういったPDCAが機能しているすごいことである。 ・全館で「赤ちゃんタイム」を実施しているので、赤ちゃん親子の利用が増えてほしい。子育て応援コーナーが見やすく、そろえている本も役に立つものばかりだ。 ・「赤ちゃんタイム」の実施はとても評価でき、赤ちゃん連れの親子のお話し会への参加が増えたと思える。リピーターも増えた。だが、図書館に来て初めて知った人が多く、広報がもっと必要だと思える。
市民参画型図書館	◆全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、地域住民との協働を推進する。	・ボランティア活動者数は巻を中心に大幅に増加したが、岩室ではボランティアの活動がない。 ・西川と巻で、地域住民と協力・共催による事業を開催した。	・各図書館の設置地域の特性があるのか、地域や住民との連携状況に差がある。岩室地域での働きかけが不十分だった。	3 大変評価する。 33%	・地域差はある程度は仕方がない。そこからどうしていくかは今後の課題。
	◆館の重点評価項目 地域のボランティアや住民との連携・協働	西川図書館の開館10周年にあたり、地域のボランティアからの協力を得て、記念事業を行う。	・7月に「開館10周年記念本の森コンサートin西川」を、西川で活動する2つの読み聞かせボランティアグループと共催で開催した。演奏者は地域の方から紹介していただいた。	・開館時間中に閲覧室内で行ったが、他の利用者からのクレームもなく、約80人の参加があった。地域の方々とこの繋がりを今後も大切にしていく。	3 大変評価する。 88%	・周年事業にとどまらず、新たな市民参画の方策を検討、実行することで市民に愛される図書館を目指す。 ・とてもよい試み。「開かれた図書」である。 ・このような記念事業でなくても、図書館利用向上につながるものができるだけ行ったほうが良いと思う。 ・図書館は「本を読む場所」だけではなくてきているので、事業の可能性がどん広がついていくと思う。 ・地道な取組を評価する。

※「自己評価」欄の数値について …… 3:目標を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標を下回った